

一十有。馬建國の様  
存の太

慶。他七毛亦、いごまが、  
年来来

二重子藤田君に連達し、  
物

料もとどけて歎し、  
と 軒んわのて

すが、まが九に何の底答もわ、  
の お 料斗しまあ。

て、巻念と煩はすあ、  
の 存の件。